



H.C.R. 2016 国際シンポジウム報告書 「障害者の権利の擁護とさらなる社会参加の促進のために ～ノーマライゼーションのこれまでとこれから～」 が発刊されました！

わが国では「障害者の権利に関する条約」の締結を受け、「障害者差別解消法」の制定や「障害者雇用促進法」の改正のほか、2020年には東京パラリンピック大会の開催に関連し、障害者の権利擁護と自立や社会参加の一層の促進のための動きがさまざまな形で進みつつあります。

障害者の権利を擁護し、自立と社会参加を進めていくためには、日常生活上のあらゆる場面におけるバリアを取り除き、生活場面はもとより、雇用・就労、教育など、さまざまな分野にわたるあり方を検討し、整備していくことが求められます。

H.C.R.では、2007年に障害者の社会参加と就労をテーマに欧州のソーシャルファームの当時の現状と課題を考察して以来約10年が経過したことを踏まえて、ノーマライゼーション理念発祥の国であるデンマークから講師を招き、障害者の権利擁護や社会参加の促進をめぐる変化と最新の動向に関するレポートなどのシンポジウムを開催し、わが国の今後の関連の取り組みを展望するうえでの考察の場としました。

特に、デンマークからの報告のなかで、日本の障害者福祉の発展にも大きな影響を与えたノーマライゼーションの理念が、現在はインクルージョンという考え方に継承されており、障害のある人々を労働市場、教育制度、社会的コミュニティなどに包括する取り組みに活かされていることが紹介されました。また、その政策の基盤は国連障害者権利条約の考え方に基づき、障害者と健常者とが平等な条件でその可能性を発揮できるよう支援することを公共政策のねらいとする「機会均等」、福祉制度が税を財源とし障害者へのサービスがほとんど自己負担なしに提供されることを示す「連帯」、身体的または知的な機能等に応じて生じる支援ニーズのために提供される補助等を示す「補償」、すべての公的機関に対しその施設を障害者が利用できるようにする責任を課す「部門責任」といった4点の一般原則を基本に策定されていることなどに関する具体的な取り組みと今後の課題、展望などについてのレポートがされました。

これに対して日本からは、国内でも先駆的にノーマライゼーションの現場での実践を進めてきた社会福祉法人の取り組み状況報告を基に、わが国の障害者福祉

施策の概要や権利擁護の実情と課題などについての報告が行われ、それぞれの立場からの情報の交換や課題と展望の共有化などが図られました。

○平成28年10月13日（木）

参加者：254名

会場：東京ビッグサイト会議棟 6階「605-608」

○シンポジスト

【講演①～デンマークの状況報告】

ハナ・スティグ・アンダーセン 氏

デンマーク社会福祉・内務省 障害者局長

【講演②～日本の状況報告】

末光 茂 氏

社会福祉法人 旭川荘理事長、川崎医療福祉大学特任教授、医学博士

○チューター

近藤 純五郎 氏

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

このたび、シンポジウムの内容を分かりやすくまとめ、報告書として刊行しました。以下の要領により販売しております。

① 編著者、発行所：一般財団法人 保健福祉広報協会

② 企画：A5判/94頁

③ 価格：700円（税込、送料別）

④ 発行：2017年4月

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。

※詳しくは、本会ホームページ (<https://www.hcr.or.jp>)の「出版物のご案内」をご覧ください。

HCRアプリを使えば、 HCRと福祉機器がもっと身近に！

H.C.R.では、展示会当日だけでなく、普段から福祉機器を身近に感じてもらえるようスマートフォン用アプリを導入しています！



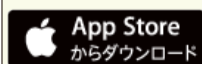
主な仕様・機能

- iOS, Android対応
- 展示会やイベント、福祉機器の新着情報を随時配信！
- 展示会へのアクセスや場内マップ、イベントなどの情報をスマホでいつでも確認可能！
- H.C.R.Webサイトの「展示製品情報」ページに簡単アクセス！
- 事前に入場登録すれば、当日はeチケットで楽々入場！

ダウンロードはこちらから！



iPhoneアプリ



※APP Storeに移動します。



Androidアプリ

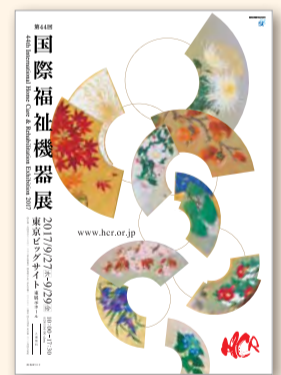


※Google playに移動します。

※画面は、実際にインストールしていただいたものとは異なる場合があります。

H.C.R. 2017 ビジュアルデザインが決まりました

H.C.R. 2017のビジュアルデザインは、森田りえ子氏（日本画家）の作品により構成し決定しました。展示会ご案内用のポスターをはじめ、DMハガキ、福祉機器ガイドブックの表紙などのデザインとして使用いたします。



開催要項 第44回国際福祉機器展 H.C.R. 2017

主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
後援(予定)	厚生労働省 経済産業省 総務省 国土交通省 東京都 海外参加国大使館
協賛(予定)	NHK厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、毎日新聞東京社会事業団、産経新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、東京新聞、東京新聞社会事業団、朝日新聞厚生文化事業団、福祉新聞社、日本赤十字社、福祉医療機構、鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会、全国心身障害児福祉財団、長寿社会開発センター、シルバーサービス振興会、テクノエイド協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本アビリティーズ協会、日本障害者リハビリテーション協会、日本リハビリテーション医学会、新エネルギー・産業技術総合開発機構、みずほ教育福祉財団、キリン福祉財団、清水基金、みずほ福祉助成財団、松翁会、丸紅基金、三菱財団、損保ジャパン日本興亜福祉財団、中小企業基盤整備機構
期 日	平成29年9月27日(水)～29日(金)【3日間】
開場時間	27日、28日：午前10時～午後5時30分、29日：午前10時～午後4時
会 場	「東京ビッグサイト」東展示ホール（東京都江東区有明3-11-1）
出展社数	530社（予定）【国内企業・団体450社、海外企業80社】
来場者数	12万人(見込み)
※主な来場者	ケアマネジャー、ホームヘルパー、福祉施設職員、福祉団体・ボランティア関係者、医師、看護師、PT、OT、保育士、建築・設計関係者、製造業、販売業、行政、福祉・介護・医療・工学系学生、エンドユーザー、一般の方